



けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



県北地方の冬の味覚、おいしいあんぽ
柿の季節です。



加工まっさかり！ 伊達市梁川地区のあんぽ柿

目次

- ・「くにみ農業ビジネス訓練所参観デー」が開催されました！（伊達農業普及所）・・・ P 2
- ・「明日の明るい伊達地方を語る懇談会」を開催しました！（伊達農業普及所）・・・ P 3
- ・「栗本堰を訪ねる小学生勉強会」が実施されました！（農村整備部）・・・ P 4
- ・今年も「きゅうり基礎講座」を開催しました！（安達農業普及所）・・・ P 5
- ・「新しい福島県農林水産業振興計画策定に係る意見交換会」を開催しました！（企画部）・・・ P 5
- ・「ふくしまHACCP導入研修会」を開催しました！（農業振興普及部）・・・ P 6
- ・「福島市・川俣町農業士会研修会」が開催されました！（農業振興普及部）・・・ P 6
- ・「ゆうきの里収穫大感謝祭農産物品評会」を開催しました！（安達農業普及所）・・・ P 7
- ・「川東鳥獣対策勉強会」を開催しました！（農業振興普及部）・・・ P 8
- ・ダムに溜まる砂の量を測っています！（農村整備部）・・・ P 9
- ・「ふくふくしめじ」が出荷・販売されました！（森林林業部）・・・ P 10
- ・「県北地方植樹祭」が開催されました！（森林林業部）・・・ P 10
- ・Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が始まります！（企画部）・・・ P 11
- ・「おいしい 冬のけんぽく いただきます」第3回フォトコンテストを開催します！（企画部）・・・ P 12



「くにみ農業ビジネス訓練所参観デー」が開催されました！

令和2年10月25日（日）、国見町において「くにみ農業ビジネス訓練所参観デー」が開催されました。

くにみ農業ビジネス訓練所（以下「訓練所」という。）は、国見町が新規就農者の育成と農業者の野菜栽培技術の向上を目的に平成30年に開所し、本格的な農業を目指す就農希望者に対する研修を行っています。

当日は、参観デーに参加した就農希望者10名に対し、佐藤博志訓練所長から訓練所の概要と国見町の新規就農支援制度について、当所担当からは伊達地域の新規就農者の状況と県や国の支援制度について、さらにJAふくしま未来営農部農業振興課佐藤邦彦課長からJAにおける新規就農支援制度の説明がありました。

その後、訓練所の施設・ほ場を見学した後、希望者に対し、当所とJAによる就農に関する個別相談も行われ、参加者の就農意欲の向上や今後の新たな担い手確保につながる有意義なイベントとなりました。

当所としましては、今後も関係機関とともに新規就農に関する相談や就農後の技術・経営支援を行い、伊達地域農業を支える担い手の確保・育成に努めていきます。

（伊達農業普及所）



説明する佐藤訓練所長



伊達農業普及所職員の説明



施設・ほ場見学会の様子



希望者との就農に関する個別相談会

「明日の明るい伊達地方を語る懇談会」を開催しました！

令和2年11月4日（水）、伊達市のみらいホール保原において、伊達地方農業士会と農業青年クラブ“DATEC（ダテック）”の共催による「明日の明るい伊達地方を語る懇談会」が開催されました。

同懇談会は隔年で開催され、今回は、近年の新規就農者の増加を受けて、「伊達地方の農業を支える新規就農者を育成するために」をテーマとして意見交換を行いました。

懇談の始めに、青年農業者それぞれから就農の動機や抱えている課題、今後の夢、それを実現するために求める支援等について話題提供をいただき、それに指導農業士や関係機関が答える形で、活発な意見交換を行いました。

参加した青年農業者から、「元気に活躍している農業者が多い地域は活気がある。私たちが地域を元気にする源。明るい伊達地方をつくっていきましょう！」ととても前向きな発言がありました。

最後に、当所の小檜山厚所長より、①親子間だけでなく部会、組織としての技術の伝承が重要、②担い手に農地が集まるのは経営規模拡大となるが、想定以上の集約化が進み、逆に担い手自身の労力不足や農地維持管理の課題が顕在化、③経営発展のために収益率を上げる多様な工夫が必要、④補助事業の積極的な活用と情報発信の重要性について総評がありました。

当所としましては、今回、明らかとなった課題の解決に取り組みながら、これからの伊達地方を担う青年農業者の経営発展のため、指導農業士や関係機関とともに引き続き支援を行っていきます。

（伊達農業普及所）



自分の考えを経営に反映していきたいと悩む後継者



桃の樹形導入の考え方や利益率について助言する指導農業士



夢の実現に向けて新たな経営戦略を語る後継者



経営戦略や設備の投入などについての助言する指導士農業士

「栗本堰を訪ねる小学生勉強会」が実施されました！

令和2年11月19日（木）、水土里ネット福島市（福島市土地改良区）主催の「栗本堰を訪ねる小学生勉強会」が行われました。

この勉強会は、「水土里を育む普及促進事業」の一環として、豊かな水を供給している福島市の栗本堰の役割を学び、農業用水の役割や水の大切さを理解することを目的に、近隣の福島市立大笹生小学校の4年生を対象に行われました。

児童たちは、栗本堰の取水口や全国的に珍しい円形分水工等を見学するとともに、堰を流れる水の水質調査を行いました。「取水口はいつできたの？」「この水きれい？」等、水土里ネット福島市の担当者に様々な質問をするなど熱心に学んでいました。

児童の代表から、「水の大切さがわかりました。これからも水を大事に使いたい」との感想がありました。

（農村整備部）



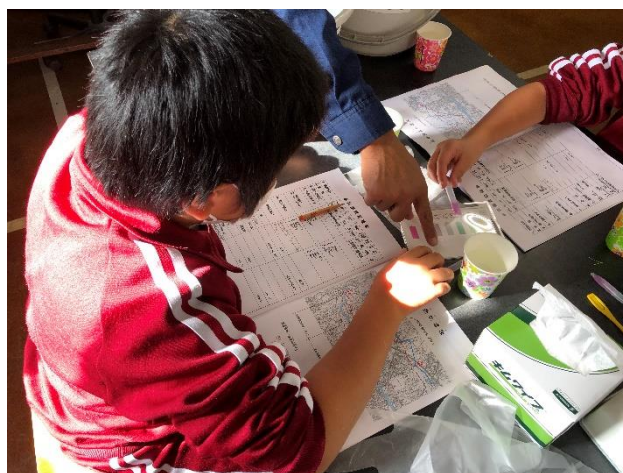
栗本堰の取水口について学ぶ様子



栗本堰円形分水工



水質について学ぶ様子



水質を調べています

今年も「きゅうり基礎講座」を開催しました！

安達地域において、収益性の高いきゅうりは農業経営を支える重要な品目の一つです。そこで新規就農者やきゅうり栽培に興味のある就農希望者を対象に、きゅうり栽培の基礎知識を4回に分けて学習する「きゅうり基礎講座」を、今年も11月5日（木）の夜、11月12日（木）の昼と夜、そして11月19日（木）の夜に当所主催で開催しました。

昨年は、きゅうり栽培に取り組む前に必要な準備や経営収支、生理・生態等の基礎知識についての講座でしたが、2年目の今年は、きゅうり栽培経過を踏まえた栽培技術のポイントや、土づくり、排水対策、病害虫防除対策、さらに簿記研修も加えてより実践的な内容となりました。

受講者は延べ32名。すでに栽培を始めている新規就農者も、これから栽培を考えている就農希望者も熱心に受講し、その中で相互交流も生まれていました。

いまだ新型コロナウイルスの影響が長引くところではありますが、当所では来年度以降も継続的に開催を予定しており、今後は現地研修等も盛り込みながらさらに深く学べる場を設け、新規就農者育成のため支援を行っていきます。

（安達農業普及所）



きゅうり基礎講座の様子



「新しい福島県農林水産業振興計画策定に係る意見交換会」を開催しました！

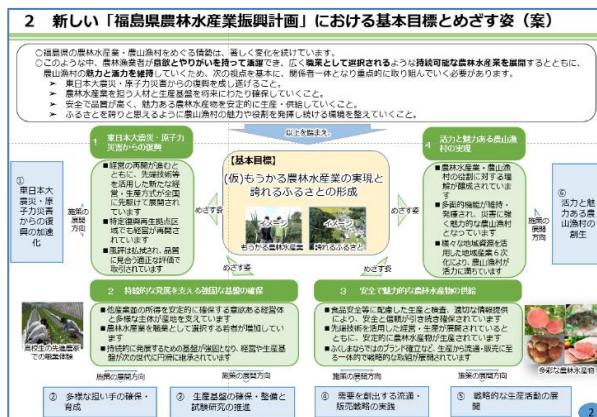
令和2年11月6日（金）、「新しい福島県農林水産業振興計画」策定に係る県北地方の意見交換会を開催しました。

県では、新しい計画の策定に向けて、県内9カ所（農林7、水産2カ所）で農林水産業者等の方々より意見を伺い、新しい計画の策定を進めています。

県北地方の交換会では、農業、林業、グリーンツーリズムの各分野で活躍されている6名の方々に出席していただき、担い手や後継者、耕作放棄地の課題など幅広い意見を頂きました。仕事のデジタル化によるイメージアップや教育旅行受入に力を入れたいなど前向きな意見も聞かれました。

「新しい福島県農林水産業振興計画」は今回の意見交換会、市町村や関係団体等への意見照会、タブレットコメント等をふまえ、令和3年度中の策定を予定しています。

（企画部）



「ふくしまHACCP導入研修会」を開催しました！

令和2年11月13日（金）、福島市松川学習センターにおいて、当事務所主催、福島市共催による「ふくしまHACCP導入研修会」を開催し、38名が出席しました。

研修会は、「農産物直売所並びに農産加工におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理について」と題し、県北保健福祉事務所の滝沢和央主査による講演があり、参加者は「今後の農産物の直売や農産加工を行う上で、器具の洗浄や消毒など衛生管理の重要性を再認識した。」「実際にHACCPの帳票などの記入方法を学び、これならできる。」と好評でした。

当事務所としても、安全・安心な農産物、農産加工品が消費者の手元に届くよう、引き続き支援を行っていきます。
(農業振興普及部)



県北保健福祉事務所 滝沢主査による講演



熱心に質問する出席者

「福島市・川俣町農業士会研修会」が開催されました！

令和2年10月30日（金）、福島市・川俣町農業士会主催による研修会が開催され、会員及び関係機関・団体職員10名が参加しました。

この研修会は、農業士の資質向上を目的として毎年開催しているもので、本年は新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、山形県長井市の株式会社鈴木酒造店長井蔵を視察しました。

双葉郡浪江町で酒蔵を構えていた鈴木酒造店は、平成23年3月の東日本大震災で被災し、避難を余儀なくされましたが、縁あって山形県長井市で酒造りを再開しました。来春には浪江町の「道の駅なみえ」に整備される酒蔵でも酒造りを始める予定で、新たにできた山形での縁、福島への想いを大事にして、未来志向で酒造りに取り組んでいます。研修会の参加者は「大きな刺激を受けた。」と話し、実りの多い1日となりました。
(農業振興普及部)



鈴木酒造店長井蔵での集合写真



酒蔵見学の様子

「ゆうきの里収穫大感謝祭農産物品評会」を開催しました！

令和2年10月30日（金）、二本松市の道の駅ふくしま東和「あぶくま館」会議室でNPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の「ゆうきの里収穫大感謝祭農産物品評会」が、今年も盛大に開催されました。地域の農家約70名から穀類や野菜、果物など過去最高の155点が出品され、形状光沢、揃いなどを審査しました。作柄を占う今年の天候は、梅雨入り後7月は曇天で気温が低い日が続きましたが、梅雨が明けると一転して高温・小雨となりました。9月以降は比較的穏やかに推移したことで、今年は農産物全般に良質なものが多く見られました。

審査した結果、二本松市長賞にブドウ、認定農業者協議会支部長賞にシイタケ、ふくしま未来農業協同組合東和支店長賞にネギ、ゆうきの里東和ふるさとづくり理事長賞にハクサイが選ばれました。

表彰式は、翌10月31日（土）に行われ、主催者である同協議会の進行で、まず審査員を代表して当所の遠藤幸男所長から、いずれの農産物も優良で日々の栽培管理の成果が現れ、特に上位入賞したものは優劣をつけるのに苦労したと審査講評が述べられ、続いて二本松市の三保恵一市長より祝辞後、入賞者一人一人に賞状と記念品が贈られました。

最高賞の二本松市長賞には武藤喜幸さんのブドウ（シャインマスカット）が選ばれました。

受賞された武藤さんから、「今後も意欲とプライドを持って生産に取り組み、更なる品質の向上に向け研鑽し、地域農業の振興に努めたい」との言葉がありました。

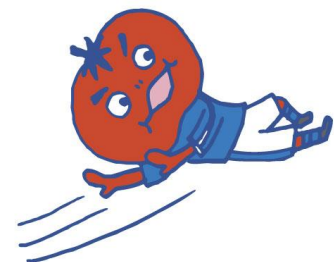
（安達農業普及所）



表彰式



農産物品評会受賞者



福島県の多彩な農林水産物を代表する「ふくしまイレブン」のキャラクターです。

「川東鳥獣対策勉強会」を開催しました！

令和2年10月30日（金）、福島市飯坂町湯野において昨年度に引き続き、当事務所主催による標記勉強会を開催し、地域住民等26名が参加しました。

参加者は、望月翔太福島大学食農学類准教授による講演「集落環境診断とイノシシ被害対策の改善」で集落環境診断の重要性について理解を深めていました。

講演後、参加者は実際に自らの集落を巡回し、イノシシによる被害や対策状況を確認するとともに、昨年度から改善された点や今後さらに改善が必要な点について話し合いを行い、今後の対策実施に向けて意識を共有していました。

当事務所としても地域ぐるみの鳥獣対策の実現に向けて引き続き支援を行っていきます。

（農業振興普及部）



望月准教授による講演



集落の対策状況等について確認



電気柵の設置・管理方法を確認



対策についての話し合い結果を発表

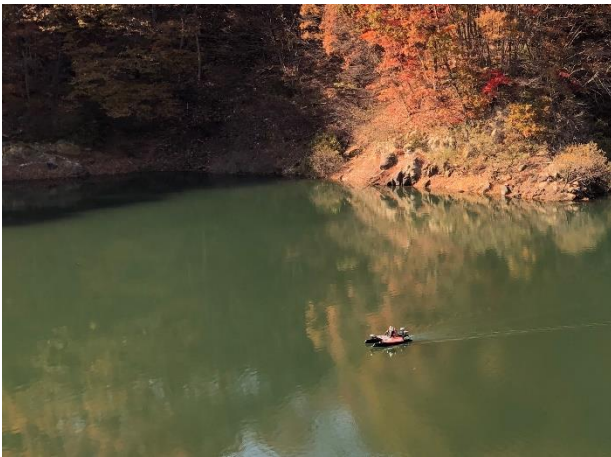
ダムに溜まる砂の量を測っています！

河川を堰き止めて貯水するタイプのダムは、水と一緒に流入した土砂が貯水地内に溜まります。年数が経過するにつれ、溜まる砂の量（堆砂量）も増え、ダムの貯水量が減少してしまうことから、当事務所では所有するダムについて、決まった時期に測定し、堆砂量を確認しています。

堆砂量の測定は、水中の状況を把握するものになりますが、本年は自動運転の船から水中に音波をとばし、その反射を利用して深さをリアルタイムで測る方法で行っています。

今後も安定的な農業用水の供給のため、さまざまな方法でダムの適切な維持管理を行っていきます。

(農村整備部)



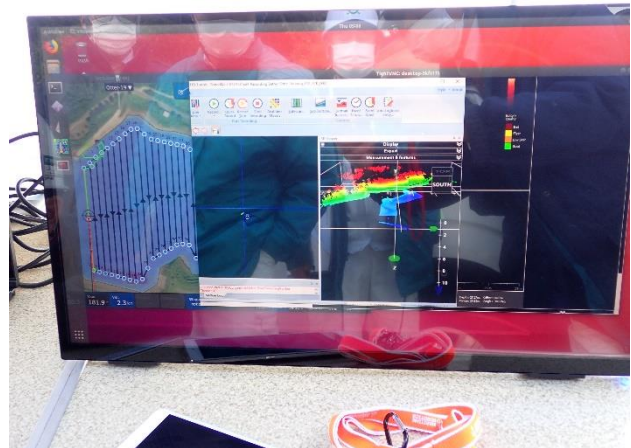
自動運転の船による測定状況（岳ダム）



自動運転の船による測定状況（山ノ入ダム）



測定船



自動運転マップと 3D スキャンの状況

「ふくふくしめじ」が出荷・販売されました！

福島県では、県オリジナル品種「ほんしめじ福島H106号(愛称：ふくふくしめじ)」の産地化促進と栽培技術の確立に向けて、「福のしま『きのこの里づくり』事業」を進めています。

昨年度に引き続き、県北管内では、伊達市の「JAふくしま未来伊達地区菌床きのこ生産部会」と「大平きのこ苑」がモデル栽培に取り組んでいます。

今年度も、大きく育った「ふくふくしめじ」が出荷されました！県内外の飲食店で利用されたほか、直売所やサービスエリアでも販売されました。

今年の「ふくふくしめじ」のシーズンは終盤ですが、直売所やスーパーなどで見かけた際はぜひ御賞味ください！

(森林林業部)



発生の様子



大きなほんしめじ！

「県北地方植樹祭」が開催されました！

令和2年10月23日(金)、伊達市「赤坂の里森林公園」において、伊達市緑化推進委員会主催による地方植樹祭が開催されました。

伊達市緑化推進委員会長の須田博行伊達市長の挨拶、飯沼隆宏当事務所長、齋藤卓夫(公社)福島県森林・林業・緑化協会長、高橋一由伊達市議会議長の祝辞の後、記念植樹が行われました。

各市町村緑化推進委員会、農林関係団体、地区緑化推進委員会、石田小学校緑の少年団などが、夏から秋に色鮮やかな花を咲かせる落葉広葉樹の「サルスベリ」の苗を植栽しました。あいにくの雨模様でしたが、樹木にとっては根が乾かない最良のコンディションでもあり、今後の健やかな成長が期待される植樹祭となりました。

(森林林業部)



植樹祭の参加者



植樹の状況

Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」を開催します！

令和2年12月1日（火）から令和3年1月31日（日）まで、Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」を開催します。おいしい福島のかだものを1年を通して食べよう！というプロジェクトです。

県北管内10店舗の飲食店が腕を振ります。参加店舗の詳細情報は「CJふくしま12月号」または下記の二次元コードから当事務所のホームページを御覧ください。

Hot フルーツ商品の写真を撮ってInstagramに投稿すると、入賞者に「Hot フルーツ賞」をプレゼントするフォトコンテストも同時開催中です。フォトコンテストの詳細は次頁を御覧ください。

■開催期間

令和2年12月1日（火）～令和3年1月31日（日）

■実施店舗

- ・道の駅国見あつかしの郷 ももたんカフェ
- ・プティリジェール
- ・Curry dining bar 笑夢
- ・スペインバル&リストランテ カメレオン
- ・ワインブティック&ベーカリーカフェ midi
- ・たいやき十番館
- ・福島ワイン酒場
- ・Tea&Bar MAGIE NOIR（マジー・ノアール）
- ・Melon de melon 福島大町店
- ・農家カフェ 森のガーデン

■お問い合わせ先

福島県県北農林事務所企画部 ☎024-521-2596

■詳しくはHPを御覧ください

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/hotfruits.html>

（企画部）



当事務所のHPはこちら
ちらしもここからダウンロードできます。

LET'S EAT!!

県北のフルーツを Hotメニューで食べよう!

第2弾は
りんご

Sweets

福島のおいしい菓物は年中食べたい!!
でも、肌寒くなってきたこの時期は身体が冷える...
そんなあなたには「Hotフルーツメニュー」がおすすめ!
温かいフルーツは腸が冷えにくくなり、健康体への第一歩につながるかも。

food

2021年
開催期間 **12月1日(火)～1月31日(日)**

参加店舗

- + ももたんカフェ
- + プティリジェール
- + 笑夢
- + カメレオン
- + midi
- + たいやき十番館
- + 福島ワイン酒場
- + MAGIE NOIR
- + Melon de melon
- + 森のガーデン

Hotフルーツプロジェクト

2021年度に、りんご、ぶどう、桃、梨、いちごなど一年を通してたくさんの特産物を販売している県産大賞「福島」産品の県産の旬を盛り上げるため、まずは健康増進が第一。多くの人に食べてほしいというプロジェクト。その中でも、冬場でも美味しく食べられる「りんご」が、冬場、春にかけて活躍する食べ方が広がり、健康・美容・癒しの効果の果物を「りんご」が、楽しみ方で味わってみたい。新鮮なりんご、梨、桃、いちごにぜひ食べてほしい。

※お問い合わせ先
@kenpokuonlineをフォローして、
Instagramで#けんぽくりんご
でアップすると抽選に当たるかも!
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/hotfruits.html>

このフラッグが目印です

主催：けんぽく6次化ミーティング 事務局：福島県県北農林事務所 福島県県北地方振興局 問合せ：024-521-2596

くだもの王国けんぽく
このHotメニューは新しい!

Hotフルーツ!
プロジェクト

このフラッグが目印です

「おいしい 冬のけんぽく いただきます！」第3回フォトコンテストを開催します！

県北地方はおいしい農産物の産地！！福島県産のおいしいお酒、県産農林産物を使ったお酒に合うお料理やおつまみ、6次化商品の写真をInstagramに投稿してください。新酒やお鍋、県北の冬の特産と言えば「あんぽ柿」！おいしい県北の冬の味覚の投稿お待ちしております。



このアイコンが目印！

■参加方法

(1) 当事務所のInstagramアカウントをフォローしてください。

「@kenpokunourin 福島県けんぽく農林事務所」で検索するかQRコードを読み込んでください。

(2) 指定ハッシュタグ「#おいしい冬いただきます」をつけてご自分のInstagramに投稿してください。

Hot フルーツ商品の写真を投稿する際は「#Hot フルーツ」もつけて投稿してください。

■開催期間

令和2年12月1日（火）～令和3年1月31日（日）

■お問い合わせ先

福島県県北農林事務所企画部 ☎024-521-2596

■詳しくはHPを御覧ください

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/oishii-fukushima-itadakimasu.html>

(企画部)



写真、お待ちしております♪

編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課
電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850
ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>
電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

